資料７

〇令和４年度から６年度まで京都市立中学校・義務教育学校（後期課程）で使用する社会科（歴史的分野）の教科書採択について，下記のとおり外部有識者からの意見聴取を行った。

日　時：令和３年７月６日（火）９時５５分～１１時００分
場　所：京都市総合教育センター 第３研修室
参加者：外部有識者３名ほか

議　事

【学識者】 説明を聞き，昨年度選定したとおり，やはり帝国書院の教科書が優れていると思う。ただし，教科書に手立てや指示が詳細に示されていることは決して良いことばかりではない。生徒は教科書の指示通り作業を進めると学習できてしまうため，教師の専門性を発揮する余地がなくなってしまうということも考えられる。今後の教科書のあり方は研究が必要と考える。

【事務局】 昨年度の選定委員会でもご指摘いただいているとおり，教科書に具体的な学習過程が示されすぎていると，教師の指導の幅が広がらないことが懸念される。一方で，経験の浅い教師が増えてきてる中で，ある程度学習過程が示されている教科書のほうが，一定水準以上の学習活動を行うことができるという見方もある。昨年度は後者を重視して教科書選定を行ったが，今後ともさらに研究を進め，生徒が「どのように学ぶのか」ということを個々の教師が考え，工夫した授業ができるようにしてまいりたい。

【学識者】 プロセスが示され過ぎていては考える余白がなくなり，生徒自身が多面的・多角的に考えていく余地がなくなってしまうのではないかと思う。自由な発想で生徒同士が話し合う活動が抑制されてしまわないよう，学習活動を工夫していただきたい。

【事務局】 学校現場では教科書をそのまま使うわけではなく，各教師が教材や板書を工夫するとともに，授業の中で話し合い活動を積極的に取り入れるなど，生徒が主体的・協働的に学習できるよう，授業改善を進めている。また，デジタル教材の開発も進んできているため，そのようなコンテンツも効果的に活用した授業が行えるよう，研究を進めてまいる。

【学識者】 手立てや指示が数多く示されているということは，逆に言うと，生徒が学ぶ選択肢がたくさんあるということであり，自主的に学ぶ余地が多いということも言える。自由社の教科書は，今までの教科書に掲載されていない，新しい発見･気付きもあるが，単元によって記述に偏りがあると感じた。帝国書院の教科書のバランスがよく，ふさわしい教科書であると考える。

【事務局】 令和３年度の授業はまだ３か月程度しか行っていないが，現在使用している帝国書院の歴史的分野の教科書の使用感など，現場の感想はどうか。

【事務局】 １学期は，主に地理的分野を学習しており，直接的に歴史的分野の教科書を使用しての感想は聞くことは難しい。ただ，単元によっては，地理的分野と歴史的分野の関連が示されており，その中で適宜活用されている。

【学識者】 以前の教科書に比べ，厚くなった印象がある。また，デジタル教科書の導入も予定されているが，実際の使用感がわかれば教えてほしい。

【事務局】 学習内容が増えたことに伴い，教科書が厚くなってきているが，紙質や印刷技術が向上しており，厚くなったほど重たくなった印象はない。また，デジタル教科書については，現在国において実証事業が行われており，本市の小・中学校の約半数の学校が参加している。実際にデジタル教科書を見ると，発行者によって内容が異なっているのが現状である。学習の動機付けやスタディログなど，教育効果がみられることも予想されるが，今後，学校現場の活用実態も踏まえ，見極めてまいりたい。

【事務局】 歴史的分野の教科書については，今後もさらに調査研究を進め，７月末から８月上旬にかけて採択する教科書を決定する予定である。

＜閉会＞

〇令和４年度から６年度まで京都市立中学校・義務教育学校（後期課程）で使用する社会科（歴史的分野）の教科書採択について，下記のとおり保護者代表からの意見聴取を行った。

日　時：令和３年７月９日（金）１６時３０分～１７時３０分
場　所：生涯学習総合センター（京都アスニー）２階　相談室
参加者：保護者代表３名ほか

議　事

【保護者】　自由社の近代以降の記述部分での特徴は何か。

【事務局】　政治・外交に関する内容が充実しているのが主な特徴である。ただし，国民生活への影響や戦争に対する当時の反対意見など，戦争の負の側面に関する記述が弱い面もみられる。そのため，生徒が多面的・多角的に物事を考えるための手立てとなり得ていない印象である。

【保護者】　自由社の教科書は，戦争を扱う単元になると記載内容が難しくなり，生徒の理解が進まないのではと感じる。また，写真の色彩も暗めのものが多く，興味を引きにくい。その一方で，帝国書院の教科書は，様々な図や写真などの資料が色彩豊かで豊富に掲載されており，歴史的分野の学習が苦手な生徒も興味をそそられる。学習に必要な情報もバランスよく掲載され，見やすいと感じた。

【保護者】　２社の教科書を見比べると，写真掲載の仕方が異なる。帝国書院の教科書は角度をつけた写真を掲載することで立体感が伝わるようにするなど，生徒が興味や想像を膨らませやすい工夫がされていると感じた。教科書にＱＲコードが掲載されているが，何を見ることができるのか。

【事務局】　発行者によって様々だが，ＱＲコードを読み取ると，該当ページの図表などが自由に拡大・縮小して見ることができたり，映像が流れたりすることで，生徒の学びを促す工夫がされている。現在，国において，デジタル教科書の導入も検討されている。

【保護者】　デジタル教科書が普及すれば，動画等のコンテンツが容易に再生できるため，生徒の興味・関心を引きやすいと思う。また紙の教科書がなくなるのであれば，生徒が重い教科書を都度持ち帰る必要もなくなり，負担軽減につながる。

【事務局】　デジタル，紙，それぞれの利点を踏まえ，発達段階や学習場面に応じて，どのように活用するのが効果的か，今後研究していく必要がある。

【保護者】　昔の教科書に比べると様々な資料や図表，キャラクターが掲載されたりするなど，内容が非常に充実していると感じた。

【事務局】　多様な資料などが掲載されるようになっており，生徒が自学自習を行いやすい教科書となっている。その一方で，生徒は教科書の指示通り作業を進めると学習できてしまうため，自由な発想による学習活動が抑制されるのではないかという指摘もある。そういった指摘も踏まえ，振り返り活動や調べ学習など，教科書に記載されていること以上に深く学ぶことができる工夫や手立てにも着目しながら調査研究を進めてまいる。

【事務局】　歴史的分野の教科書については，今後もさらに調査研究を進め，７月末から８月上旬にかけて採択する教科書を決定する予定である。

＜閉会＞